

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [沖縄県立開邦高等学校] 担当教諭名 [前新 令子] (2年 38名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [SMA Labschool Cibubur] 担当教諭名 [Aria Aradhea]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	課外活動	住みやすい町づくりのために	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	理想の社会
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私達が生きる未来は、貧困や差別などが改善され、誰もが平和で尊重された中で生活している。また環境や限られた資源を大切に生活している。そのために私達が今やるべきことを始めよう!



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
コロナ禍の中これといった交流ができなかった中で、自分達の周囲に目を向けながらSDGsの問題を少し深く掘り下げ自分達ができることを見つけそれを行動に移して活動することを意識できるようになったし、すでに実際に行動できている生徒もいること。	実際に相手校の生徒と本校の生徒が意見を交換する機会が無かったので、自分の地域について深く知るだけに終わり相手校からの意見ももらえなかったのが残念だった。教師側のやりとりよりも生徒同士のやりとりを多くする方法をさぐること。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
ジェンダーについて調べているグループがインドネシアの宗教の問題に触れて日本と海外の違いに驚き、海外の人々と共に未来を作るためには、それぞれの国について知ることが必要だと感じた。地球全体で協力して真摯に向き合えばSDGsの17個全て解決できるのでは？という意識と意欲が芽生えた。	ジェンダー問題には関心があってわかっているつもりだったが、宗教とのかかわりで難しい地域があるということに改めて実感できた。コロナや教育に関しても国によって考えや対応が違うことを学んだ。これらを担う高校生たちの思いは世界共通で、世界中の生徒たちが協力すれば実現が難しそうなSDGsも実現可能になるのでは？という思いになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイルについて学び、メンバー集めのパワーポイント作成 ・SDGsについて考えグループ分け ・各グループで自己紹介作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国について調べアートマイルについても熱心に調べ学習した。 ・グループのなかには初めて話す生徒もいて緊張した様子だったが徐々に打ち解け協力して活動ができた。 	課外活動
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介パワーポイントを相手国と共有 ・共有テーマ「住みやすい街づくり」を作るためのサブテーマを各グループで考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国からの自己紹介ビデオを見てうれしそうであった。 ・いろいろな視点からテーマを見ることで日常自分が行っていることを振り返って考えるようになった。 	課外活動
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループでサブテーマを深く掘り下げ自分たちでできることを考えパワポにまとめ発表会を行った。 ・パワポを相手国と共有しお互いにフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことについて相手が理解できるように分かりやすく説明しながら発表することができた。他の発表にも耳を傾け積極的に質問することで自分たちの抱える問題が相互に絡み合っていることを学んだ。 	課外活動
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・各サブテーマごとに沖縄の地図に理想的な未来を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト前の忙しい時期であったが時間をやりくりして、またグループの仲間とイメージを共有することで楽しんで作画に取り組むことができた。 	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに回答 ・校内での研修発表会で発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ交流ができなかったことが一番悔やまれる点だった。 ・堂々と自分の得た成果を発表できた。 	課外活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	課外活動での自分たち同士の発表会でほかのグループの発表に熱心に耳を傾け興味があることに質問しあったりした。それによって身近な文化に気づき、またインドネシアの宗教の違いによるものに対して興味関心をもって学習した。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	4	研修発表会において身近な問題について高校生でも今からできる解決策について思いを馳せ段階的に問題を解決することを提案した。他人事であった問題を自分事としてとらえられるようになった。
主体的に考え行動する力	4	グループ活動がある程度終わったところで、地域のボランティアに参加する生徒たちがいた。また自分たちの理想を実践したいと制服の性別をなくすことに取り組んだりした。
多様な他者と対話・協働する力 （海外の相手と対話・協働）	4	壁画制作において自分たちの考える壁画のイメージを相手国に伝え、その意味やメッセージと一緒に考えることができた。また学科の壁を越えて様々な生徒と協力して活動できるようになった。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	4	自分たちの思いを素直に絵に表現することができていた。その一つ一つがよく考えられたもので感心した。